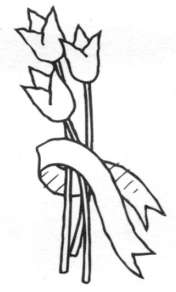




# 宇工高同窓会会報

発行所  
宇都宮市京町9番25号  
電話 (028) 633-0451  
宇都宮工業高校  
同窓会事務局



## 同窓会長

あいさつ

同窓会会長 増 渕 芳 男

宇工高同窓会の皆様には平素より会の運営につきましては大なるご配慮を賜り厚く御礼申し上げます。ご承知のように最近の世情は国を挙げての景気対策にも拘わらず、知名度の高い企業が人員削減や閉鎖に追い込まれるなど、冷え込みが続き就職は氷河期と呼ばれ大変厳しい現状です。

この状況下、三年生の諸君にとっては年功序列の社会ではなく、自分の責任で逞しく挑戦することが求められる時代が変わってしまいました。現況下の卒業生たちの就職の問題についてはOB会員皆様の特段の御力添えが必要かと思われまします。後輩の目的達成の為、ご協力の程よろしくお願い申し上げます。

本年は創立八十周年の前年に当たり、母校では平成十四年二月には国際基準のISO14001の認証取得を達成しました。また春の選抜高

校野球大会で甲子園出場を達成し、二つの前祝い、宇工高ならではのものと深く感銘した次第です。

創立八十周年記念事業の一環として同窓会名簿の発刊につきまして、株廣濟堂を通じて最終段階の取りまとめを致しております。全会員皆様の御協力を頂き目的達成のため事務局も一層の努力をお願い申し上げます。来るだけ年内に名簿の完成方を願うものです。

最後に同窓会に対し宇工高の移転・改築計画の意見の取りまとめの話があり、仮称「母校整備懇談会」を発足させ年内に大要についての意見集約を図りたいと存じます。これらの機会を通じて同窓生の絆が益々強くなりますことを祈念致しましてご挨拶と致します。



## ごあいさつ

学校長 高 桑 正 克

本校に着任し、三年目になりました。紙面をお借りし、改めてご挨拶を申し上げます。また、宇都宮工業高校同窓会の増渕会長様はじめ役員各位には、この二年間余のご支援に心からの敬意と謝意を表しますとともに同窓会会員の皆様には、一方ならぬお世話になっておりますことに厚く御礼申し上げます。

宇工高同窓会は、その目的に添い、これまで会員相互の親睦を計ると共に、会員の資質の向上と本校の発展に大きく寄与してこられました。

様々な事業・活動を通し、本校の教育諸条件の維持・向上に重要な役割を果たされていることを実感しております。

特に、先の第七十四回選抜高校野球大会出場に際して、特段のご援助ご声援を賜りましたことに、現職の教職員は総意を込め、深く感謝を申し上げます。

また、平成十五年度に予定される学校創立八十周年記念事業の先取りとして経費を予算化いただいたことにより、公立学校として全国初のISO14001の認証取得を成し遂げ、記念事業に華を添えることができましたのも、同窓会の心強い後ろ盾があったことであることを噛み締めております。

先達の築いてこられた輝かしい歴史を土台にし、本県の工業教育をリードするという責務を担う宇都宮工業高校の在り方が従前にも増して重要になってきました。

私たち現職教職員は、先輩諸兄の助言・激励の下、全校を挙げて新世紀に相応しい学校づくりに取り組んでおります。平成十五年度から実施されることになっている新しい高等学校学習指導要領の教科「工業」に関する改訂のキーポイントは、「環境に配慮したもののづくり」です。そこで、本校は、『グリーン・エンジニア（人に優しく環境課題に対する識見と行動力を備えた工業技術者）の育成』を目指すこととしました。

創立八十周年の節目を契機に、新たな味付けをした伝統を、次代に引き継げるようにしたいと考えております。皆様の後輩である生徒諸君も日に日に自覚を高め、教訓「一人は一校を代表す」の実践としてグリーン・エンジニアの卵が着実に育ちつつあります。

会員の皆様には、どうぞこの意気込みをお汲み取り頂き、一層の深いご理解と温かいご支援をお願い申し上げます。最後になりましたが、皆様の益々のご健勝をお祈り申し上げます。ご挨拶といたします。

特集

地域と世界を結ぶ環境ISO

ーグリーン・エンジニアの創出ー

栃木県立宇都宮工業高等学校

ISOプロジェクト 桑川 高德 (土木科)

本校では、平成十四年二月十九日にISO14001の認証をJABから、二月二十六日にUKASから認証された。ISO14001は環境ISOとも呼ばれ、環境に関するマネジメントシステム(仕組み)についての国際規格である。具体的には、環境に関するマネジメントシステムを構築、運用、そして改善と一連の流れについて、客観的な事実に基づいての

検証が行われ、規格に適合していれば認証される。本校での大きな方針は、グリーン・エンジニアを指した教育活動を展開することである。このグリーン・エンジニアとは世界で本校にしかない言葉である。緑を大切にすることは世界的な流れでもあるが、さらに一歩踏み込んで、工業技術者の規範としての資質としてより積極的な意味合いを持たせている。循環型社

会に参画すべく、今後の工業技術に求められるセンス、モラル、生き方、技術能力を包含する概念と理解される。これに向かって、グリーンな教育を展開することが、宇都宮工業高校のISOの本旨である。

環境教育は、これまでも実践されてきた。しかし、ISO14001は、この環境教育にはない強力な推進エンジンを持っている。それは、計画、実施、チェック、見直しという基本ループの中で、トップダウンとボトムアップを併用し、継続的改善が確実に実行されるための仕組みである。また、目的・目標を具体的に示し、その到達度を評価し、未到達の場合には、その原因を追求し、改善するものでもある。

また、本校の環境ISOは地域とともに活動することも方針の一つである。学校で行われる環境活動が、地域性を有し、固有の活動であることが「オンリー・ワン」活動の原点であるが、それが広く世界に向かって門戸を開放することができると例え、環境保全活動の一つである炭焼きー河川浄化ー森林育成の炭循環の活動概念は、ゼロエミッションとして国内ばかりでなく、外国からも評価されつつある。高校生の地域活動が、世界と結びつくことの表れである。

今後、宇工の環境ISO活動は、グリーン・エンジニアの創出を目指して多様な展開が想定される。日本初の公立高校での取得の名に恥じないように確実に歩みを進めたい。そして、世界に大きく羽ばたくことを期待したい。

同窓会員の皆様には益々ご清祥のこととお喜び申し上げます。さて、ご高承のおお喜び本校野球部は、昨秋宇都宮市で行われた関東大会で四十三年ぶりの優勝を果たし、第七十四回選抜高等学校野球大会に出場いたしました。

試合は大会第四日目の三月二十九日、福岡工大附属城東高と対戦しました。持ち前の全員野球で戦いに臨み、延長戦となる接戦を展開し、惜しくも6ー5で破れましたが、甲子園に爽やかな旋風を巻き起こしました。試合に向けて、本校の生徒約六百名と教職員約五十名も十八台のバスに分乗し、夜を徹して甲子園に向かい、アルプススタンドから熱い声援を送りました。また、本校のPTA、野球部OB会、野球部保護者会、そして県民の皆様も生徒や教職員に加えて二十五台の応援バスを連ねて応援に参加して頂きました。

一方、本校がISO14001の認証を取得し、野球部も積極的にこの活動に参加している様子がテレビ番組

第七十四回選抜高校野球大会 出場と募金の御礼

教頭 岡田 義治

で全国に放映され、その真摯な姿勢に各地から称賛のお便りが届きました。今回の選抜高校野球に出場したどのチームも及ばない高校生らしい新鮮なニュースで、「宇工」の名をほいほいままにした一コマでした。

こうした選抜大会への出場や応援、そしてISOの活動への参加ができたのも、物心両面のご支援を頂いた同窓会々員の皆様のおかげと感謝し、御礼を申し上げます。

お願いした募金は、会員及び旧職員合わせて三、二〇〇名の方から二〇、六九一、二五〇円を頂き、ユニフォームを整え、野球用具を補い、甲子園での滞在費や応援の費用などに有効に使用させて頂きましたことを報告申し上げます。

末筆になりましたが、会員の皆様がますますのご隆盛とご健勝を心より祈念申し上げ、報告と御礼に代えさせて頂きます。



間伐材を使った自作の炭による釜川の河川浄化

応援ありがとうございました。

宇都宮工業高校科学技術研究部員一同



平成14年7月26日~28日 Dream Cup ソーラーカーレース2002鈴鹿に、参戦して参りました。結果は、50台中9位、その美しい仕上がりや安定した走行性能が評価されデザイン賞を取得しました。この場をお借りして、活動にさいしご協力いただきました皆様に、感謝を申し上げます。

サポートして頂けるOB企業を募集しています。

連絡先 科学技術部顧問 飯野・石塚

試合は大会第四日目の三月二十九日、福岡工大附属城東高と対戦しました。持ち前の全員野球で戦いに臨み、延長戦となる接戦を展開し、惜しくも6ー5で破れましたが、甲子園に爽やかな旋風を巻き起こしました。試合に向けて、本校の生徒約六百名と教職員約五十名も十八台のバスに分乗し、夜を徹して甲子園に向かい、アルプススタンドから熱い声援を送りました。また、本校のPTA、野球部OB会、野球部保護者会、そして県民の皆様も生徒や教職員に加えて二十五台の応援バスを連ねて応援に参加して頂きました。



卒業生だより

雑感

昭和41年度卒業  
鹿沼市長 阿部和夫

宇工時代のこと

昭和38年機械科卒  
小田急建設(株)  
代表取締役社長 石原道勝

日本中を沸かせたワールドカップの興奮から解放され、普段通りの忙しい毎日に戻りましたが、この興奮で思い起こされたのは、昭和三十九年の東京オリンピックのことでした。日本経済は右肩上がりの高度成長真っただ中、日本全体が、政治も経済もそして市民生活も、今回以上に熱く沸き上がっており、私は多感な十六歳、宇工高一年生でした。

中学生の頃からバイクを修理するなど、機械、特に自動車に興味があり、将来は修理工場をやりたいという夢を抱いて機械科に入学しました。振り返ると様々なことが思い出されます。当時の宇工高の雰囲気を感じられる一番の思い出は、体育時間の騎馬戦でケガをした同級生を病院に運ぶため、校則違反で軽自動車通学をしていた自分から車を出さずに言われ、病院へ乗せて行ったことです。車通学の生徒も生徒ですが、先生の臨機応変の指示も、現在の学校ではとても考えられないことではないかと、とても懐かしく思い出さ

れます。教師と生徒の絆とまでは言いませんが、信頼関係の意義を考えさせられます。

卒業後、一時日本専売公社に勤めた後、職人かたぎの厳しい父親の下、家業の建築業を継ぐことになり、一念発起し定時制の建築科に再入学いたしました。しかし、昼は現場監督、夜は勉学と、よく両立できたものだと自分でも感心するほどでした。今思えば、無限の可能性を秘めている、若さの為せる技でした。

村長をしていた尊敬する伯父の影響も大きく、三十五歳で政治の世界に身を置くことになり、二十年近くが経ちました。高校入学時の「機械を修理し、自動車に新たな命を吹き込む」という夢は、「地域社会に元氣と活力を与え、真に豊かなまちづくり」という夢にかわりましたが、「人との出会いを大切に、そして初心を忘れず、これからも精進をしてまいります」。

母校、栃木県立宇都宮工業高等学校のますますの発展を、心から祈念いたします。

私は昭和三十八年に卒業以来、同窓会報などというものを一度も目にすることがありません。さらに、名簿には一時「不明」と書かれ、甲子園出場の際の募金要請しか母校宇工との接点が無かった私に、よもや会報に寄稿などという事は思いもよりませんでした。

文章を書いたりということとは得意ではなく、立場上「書く」機会や「話す」機会は時々ありますが、冷や汗をかきながら、恥をかいている有様です。

宇工での三年間は、あこがれていた野球にほとんどの時間を費やし、その後も勉強には無気力でしたから、無理もないことかも知れません。

したがって、三年間の思い出といえは殆どが、野球に関連してはいますが、それとてたいした選手ではなかったこともあって、とりたてての感慨はありませんが、当時、校舎は木造からコンクリートに少しづつ建て替えられていた中で、一部にはまだ旧態依然とした建物が残っており、特に思い出すのは野球の練習の時、内野手であった私が一塁

へ高投すると、たしか木工場の工場(実習場)だったと思いますが、その羽目板をボールが突き破り、先輩によく叱られたものでした。パッティングゲージを実習と称して自分たちで修理したり、家に帰ってからボールの縫い返しをしたり、シーズン中は自動車通であったこともあって、大変忙しい思いをしました。

おかげで、学業のほうは優秀というわけにはいきませんでした。野球によっていまだに健康でいられること、クラス(機械科)を通じてよき友人にめぐり合い、充実した三年間をおくれたことは言うまでもありません。そして、この時期に培われた「精神」が、今もって自分の生活の原点になっており、貴重な三年間であったと考えております。

最後になりましたが、母校、同窓会の発展を心よりお祈り申し上げます。

宇都宮工業高校の進路状況について

進路指導主事 吉田 豊

進路指導についてお話ししたいと思います。進路指導と言いますと、大きく進路指導と就職指導とに分れることができます。その中で、両者の本校における最近6年間の比較を見てみますと、表1のようになります。

表1からも解るよう、平成9年度頃から進学希望の比率が急激に増加し、ついに平成三年度においては、進学者数が就職者数を上回りました。誇張して言えば、宇都宮工業高校は「進学校」に変わったと言えます。

まず、進路に関する最近の状況について説明したいと思います。少子化および工業高校生を対象とした推薦入試定員枠の拡大等により、大学は以前に比べて大変入学しやすくなりました。また、最近の不況の影響で、就職の難しさ故の消極的な選択による進学者もいるようです。これらの理由により、進学者数が増加

Table 1: 年度別進学者数と就職者数の比率. Columns: 平成8年度, 平成9年度, 平成10年度, 平成11年度, 平成12年度, 平成13年度. Rows: 進学 (30%, 37%, 38%, 44%, 45%, 48%), 就職 (64%, 59%, 57%, 52%, 55%, 47%).

しているわけですが、その内訳については平成13年度の実績を示しますと、表2のようになります。

Table 2: 平成13年度進路内容. Columns: 大学・短大, 専修学校, 就職, その他, 合計. Values: 98名(24%), 96名(23%), 190名(47%), 20名(5%), 404名.

表2に示しますように、大学・短大の比率がほぼ同数となりました。このようになったのは、最近の大学・短大進学者の増加によるもので、以前は本校の進学は専門学校が中心となっていました。しかし、今後は入学が容易になったこともあり、大学・短大進学者数は更に増加すると思われます。

次に、就職関係ですが、不況により求人数は激減しています。最近6年間の本校に届いた求人企業数の変化をまとめてみると表3のようになります。

Table 3: 年度別求人企業数. Columns: 平成8年度, 平成9年度, 平成10年度, 平成11年度, 平成12年度, 平成13年度. Values: 895社, 900社, 625社, 450社, 408社, 462社.

対する社会からの高い評価によるものであると考えられます。すなわち「宇工高生を採用しておけば間違いはない」という考え方が定着しているからであると思われ、求人で来校する人事担当者や経営者の方々の中にも、本校OBの方が少なからずおられ、その方々から宇工高を指定して採用していただいています。

しかしながら、このような状況にも変化がはじめています。それは、長年培われた指定校制や一人一社応募制といった就職慣行について、見直しを行ってどうかと動く動きです。本校としては、この制度は長い年月をかけて築き上げたもので、宇工高生にとっても望ましい形態であり、今後も続けて行きたい制度であると考えています。しかし、新設校や小規模校では、採用試験に応募さえ出来ない状況があり、新規開拓も難しいと言ったことから就職慣行見直し論が出ています。

宇工高として、たとえ複数受験可能という状況になっても、他校生には負けない実力と気力を持った、実社会で役に立つ人材を育てていきたいと考えています。最後に、平成三年度卒業生の主な進路についてまとめてみました。以下のとおりとなっております。※4年生大学：新潟、宇都宮、群馬、前橋工科大学、東京電機、工学院、東洋、日本、千葉工業、日本工業、帝京、足利工業、湘南工科大学、関東学院、他。※短期大学等：小山高専、國學院、共栄学園、県衛生福祉、関東職業能力開発、県産業技術、他。※専門学校：宇都宮ビジネス電子、宇都宮メディア・アーツ、日建工科、中央工学校、国際航空、日産自動車、国際テクニカルデザイン、日本建築、東放学園、ホンダイインターナショナルテクニカル、日本工学院、他。※就職先：本田技研、住友電工、日立、日産自動車、富士通、キヤノン、古河電気、日立栃木テクノロジ、ソニー、栃木、オリジン電気、クボタ、東武ビル、清原住宅、小松製作所、野中建設、栃木富士産業、プリジストン、吉野工業所、日本鉄道建設公団、帝都高速度交通営団、他。

平成13年度収支決算報告

(1) 一般会計

Table with 2 columns: Item (収入金, 支出金, 残金) and Amount. Includes dates from April 1, 1999 to March 31, 2000.

収入の部

Table with 5 columns: Item, Budget, Actual, Change, Remarks. Includes items like membership fees, entrance fees, and subsidies.

支出の部

Table with 5 columns: Item, Budget, Actual, Change, Remarks. Includes items like meeting fees, office expenses, and commemorative items.

(2) その他

※基金利子については一般会計に組み入れる

Table with 3 columns: Item, Amount, Remarks. Includes fund interest and 80th anniversary preparation funds.

平成14年度予算

(1) 一般会計

Table with 2 columns: Item (収入金, 支出金, 残金) and Amount. Includes dates from April 1, 2000 to March 31, 2001.

収入の部

Table with 5 columns: Item, Budget, Actual, Change, Remarks. Includes membership fees, entrance fees, and subsidies.

支出の部

Table with 5 columns: Item, Budget, Actual, Change, Remarks. Includes meeting fees, office expenses, and commemorative items.

(2) その他

Table with 3 columns: Item, Amount, Remarks. Includes fund interest and 80th anniversary preparation funds.

80周年記念事業

(1) 平成13年度80周年記念事業費決算報告

Table with 3 columns: Item, Actual Amount, Remarks. Includes meeting fees, office expenses, and advertising costs.

(2) 平成14年度80周年記念事業費予算

Table with 3 columns: Item, Budget Amount, Remarks. Includes meeting fees, office expenses, and advertising costs.

同窓会定期総会報告

Main body of the report text, including details about the 80th anniversary commemorative items and financial reports.

致します。三、記念会費募金について (一) 記念会費募金を募り応募者に名簿を送付する。 (二) 名簿のみの販売はしない。 (三) 記念会費について 一口五千円とし何口でも可 (四) 募集時期 平成十四年八月より開始 四、申し込み方法について 廣濟堂より郵便振込用紙が送付されますので、料金は郵便振込みでお願いします。 五、同窓会名簿広告応募状況について 広告の募集期間は昨年の十二月までの予定でしたが目標額に達しないため本年三月まで延長しました。 申し込み件数は広告代金納入完了実績で二百四十件、一千六十万円でした。 景気の低迷が長く続く厳しい状況にも拘わらず、応募いただいた関係各位および実行委員の方々に厚くお礼申し上げます。 今後についても随時、広告募集を致しておりますので宜しくお願ひ致します。

合同様にお知らせください。 クラス理事の方々へ 昨年度から復刊しました同窓会報ですが予算の関係上、全会員に発送できず常任理事およびクラス理事の方々に届けています。クラス会など開催の折は旧友の皆さんに母校の近況をお知らせ頂ければ幸いです。 訃報のお知らせ 同窓会顧問、齋藤隆男氏が逝去されましたので、謹んで哀悼の意を表し、ご冥福をお祈り申し上げます。 渡辺貞夫氏音楽生活五十年記念祝賀会開催 渡辺貞夫氏(電気科二十六年卒)の音楽生活五十年目を記念して平成十三年十二月二日、「うつつのみやじやずのまち委員会」主催により宇都宮市ロイヤルホテルにて盛大に行われました。同窓会からも増渕芳男会長をはじめ五十余名の方々が参加されました。「うつつのみやじやずのまち委員会」名誉会長の福田富一宇都宮市長の祝辞の後、同窓会を代表して増渕芳男会長より花束贈呈がありました。その後、渡辺氏記念演奏が催され楽しい一夜を過ごしました。 受章おめでとうございます 藍綬褒章受章 中村哲夫氏 (昭和二十五年電気科卒) 勲五等旭日章受章 加藤鉄義氏 (二十五年土木科卒) 環境保護の為再生紙を使用しています。 R70 この用紙は古紙配合率70%の紙を使用しております。